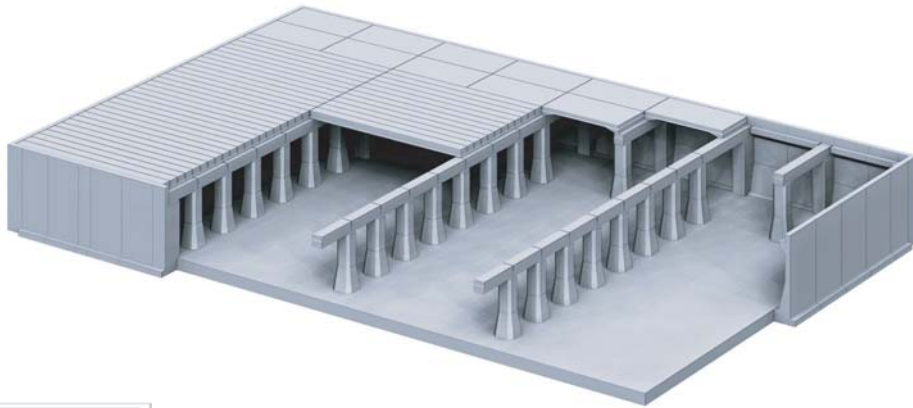


川田の地下貯水槽

エコマモール

治水対策を総合的にサポートする『プレキャストPC地下貯水槽』
(水害から都市環境や人々の生活を守ります。)

エコマモールの形状

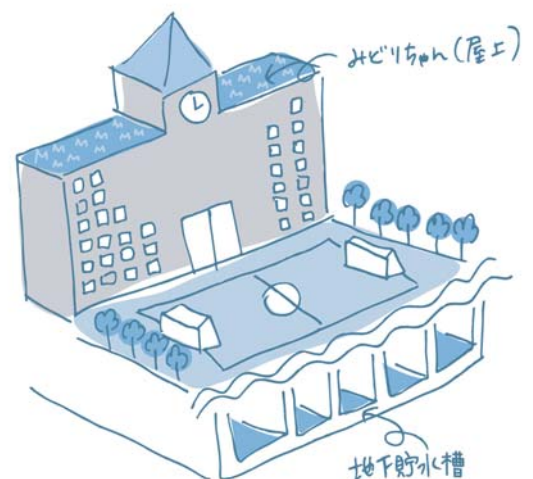
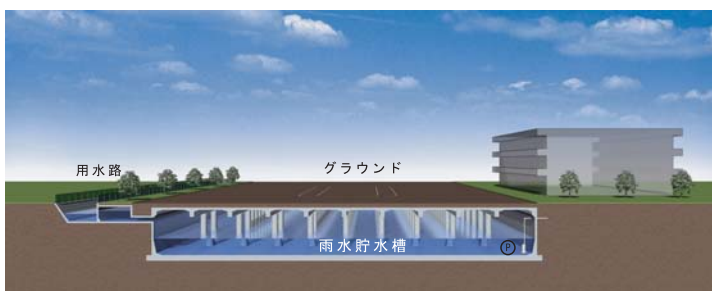


エコマモールの特長

- ①. 10 m支間および5 m支間、2つのタイプの梁を縦横に組合わせて、いろいろなサイズに対応できます。
- ②. 従来の物より柱本数を少なくしたことにより、柱や壁による水の阻害率が小さく、同じ大きさであれば貯水量を多く、同じ面積であれば浅くできます。
- ③. 同じ水量を貯める場合に柱の少ない分、掘削量が少ないためトータルコストが低くできる。
- ④. 柱間隔が広いので、清掃車両が動きやすい。
- ⑤. 主要部材のプレキャスト化と屋根部材などの部材接合にピン構造を採用することで、現場工期の短縮が図れます。
- ⑥. 梁およびスラブの組立にPC鋼材緊張工を必要としないので簡単に施工できます。

エコマモールの基本形

学校グラウンド、公園、野球場、テニスコート、駐車場などの公共用地の地下に設置します。(民間施設の地下にも設置可能)
プレストレスを導入した長支間構造なので、部材数が少なく、施工も早いので短期間に施工が完了しますので、学校の校庭など限られた期間内で施工する工事に最適です。

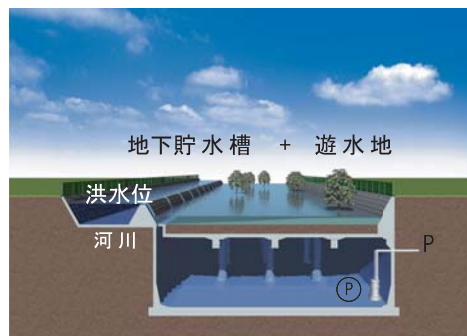
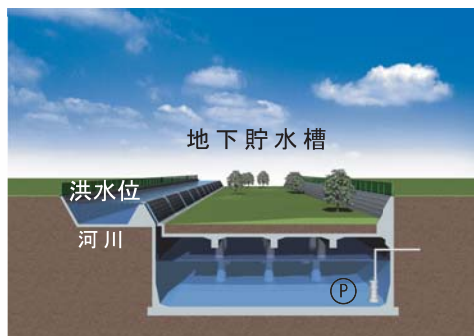


エコマモールの応用例

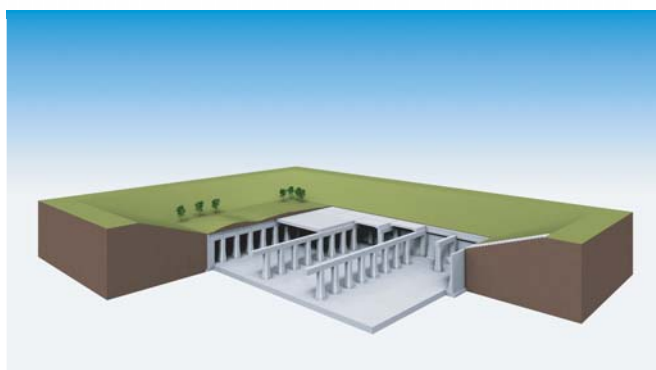
河川と併設した遊水地の地下に貯水槽を設置し、遊水地と地下貯水槽を一体化し、貯水量の増大と土地の有効利用を促進します。

河川からの越流水はまず地下貯水槽へ貯め、越流水の増加に応じて遊水地に雨水を貯水することになります。

なお、遊水地は平常時には公園・グラウンドなどの多目的広場として市民に開放することが出来ます。

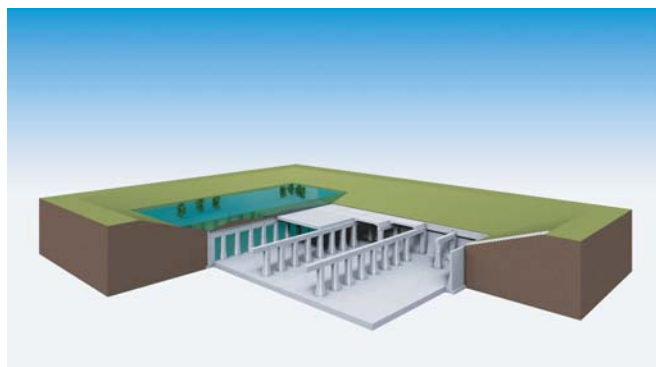


【STEP-1】



比較的頻繁に起きる水害（10～30年確率）に対しては、地下貯水槽「エコマモール」で対応します。

【STEP-2】



大規模水害（50年確率）に対しては地上部のオープン貯水池にオーバーフローさせて貯める方法です。
地下貯水槽を小さくできるため『初期投資を抑えながら、通常は地下貯水槽上部の有効利用が可能』です。
しかも通常は維持管理費が低い『コストパフォーマンスの良い地下貯水槽』を提供します。

川田建設株式会社

本社 〒114-8505 東京都北区滝野川6-3-1
TEL. 03-3915-5321 (代)
FAX. 03-3918-3547
URL <http://www.kawadaken.co.jp>
担当:環境事業推進部 03-3915-5346
E-mail:midorichan@kawadaken.co.jp

支店	東京支店	03-3576-5321
	大阪支店	06-6541-9101
	北陸支店	0763-22-4666
	九州支店	092-474-0828
	名古屋支店	052-222-3310
	東北支店	022-261-7412
事業部	土木・保全事業部	03-5567-3528

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています
2005.11.5000